



# 渋谷 プロジェクト Shibuya Project

## 2015年度 活動報告

東京大学 窪田 亜矢 教授  
工学院大学 遠藤 新 准教授  
中島 健太郎(M2)  
澁谷 崇(M1)



はじめに

---

渋谷プロジェクトについて



Q、何をやるプロジェクトなのか

A、首都直下地震等の大規模地震  
が起きた際に様々なリスクを孕んで  
いる、渋谷駅周辺(センター街等)の  
防災対策・事前復興を検討するプロ  
ジェクト。



Q、様々なリスクとは？

A、渋谷で起こることは何か？

消防車・救急車が来ない、雑居ビル火災  
整理する機動隊が居ない、大群衆

- ・雑居ビル火災の多発
- ・人の集中による将棋倒しの発生
- ・落下物による怪我
- ・渋谷駅周辺には公的支援が行われない



## これまでの活動

---

2013年から2015年まで



## 2013年夏学期 工学院大学・遠藤研究室との合同スタジオ 「生き延びる渋谷」

- ・学部4年のオムニバス演習で、事前復興的に渋谷の防災性を高める提案を行った。



東大チーム成果物(左)と工学院チーム成果物(右)



# 渋谷 プロジェクト Shibuya Project

## 2014年4月 渋谷プロジェクト発足

- ・オムニバス演習を発展するかたちで渋谷プロジェクトが発足。
- ・テーマは「**超絶繁華街の災害に対するSpatial Planningを考える**」





## 活動1: インタビュー調査で実態を把握する

- ・2014年度は実際に都心部での防災対策に取り組んでいる方々へのインタビュー調査を6回実施した。





## 活動1: インタビュー調査で実態を把握する

・2014年度は実際に都心部での防災対策に取り組んでいる方々へのインタビュー調査を6回実施した。

### 認識

- ・ 3.11 を教訓にし、帰宅困難者対策を重要な課題と認識している。
- ・ 非常時の連携プラットフォームの必要性から、協議会を運営し対策に当たっている。

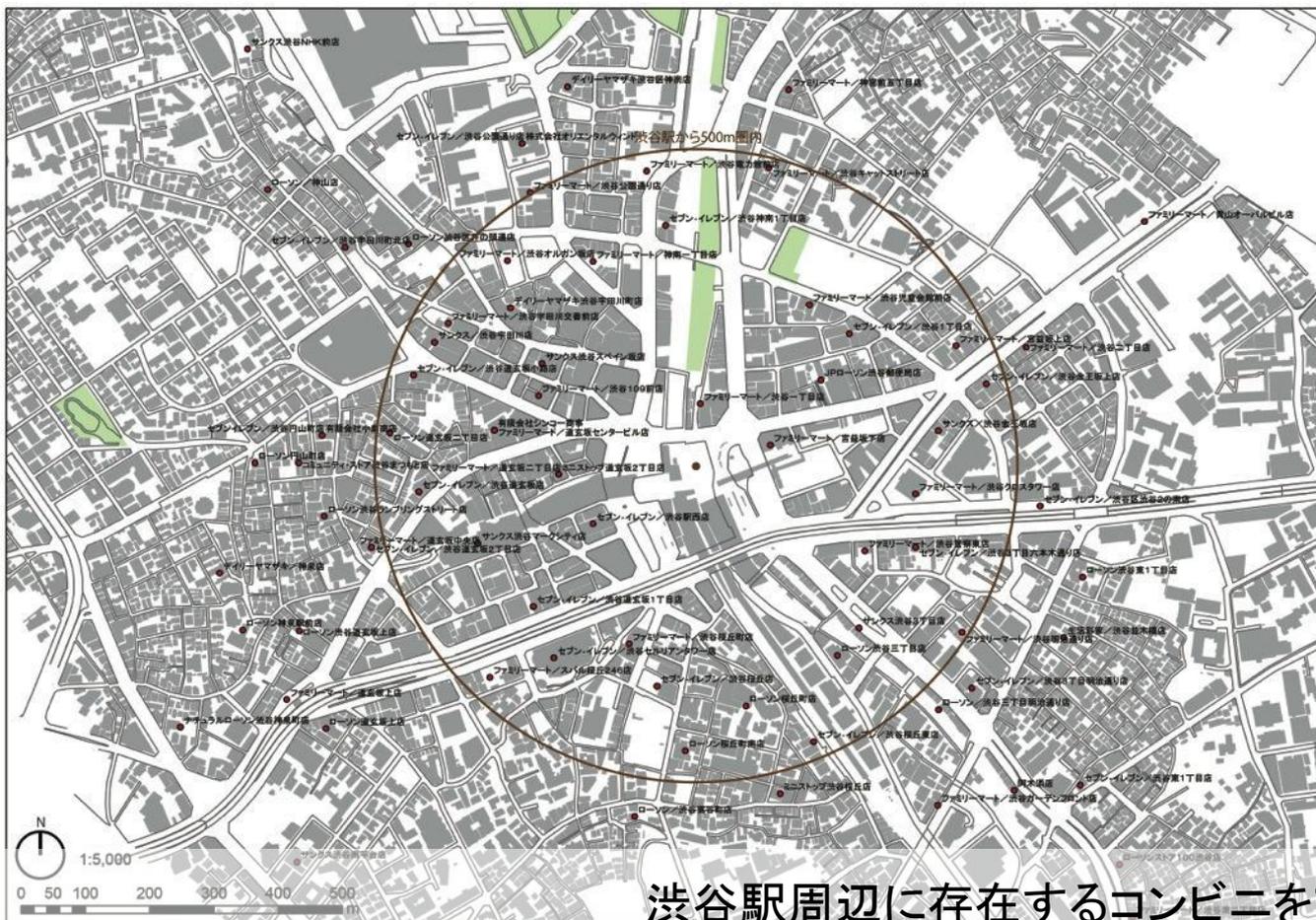
### 実態

- ・ 何を対策していいのかわからない。
- ・ 協議会の組織化以上の備えができていない。



## 活動2: 超絶繁華街の空間調査を実施する。

- ・日常と非日常を繋ぐことが防災の論点の一つであり、その視点から渋谷の超絶繁華街の空間資源を洗い出す。「防災インフラ」の概念の構築を目指す。



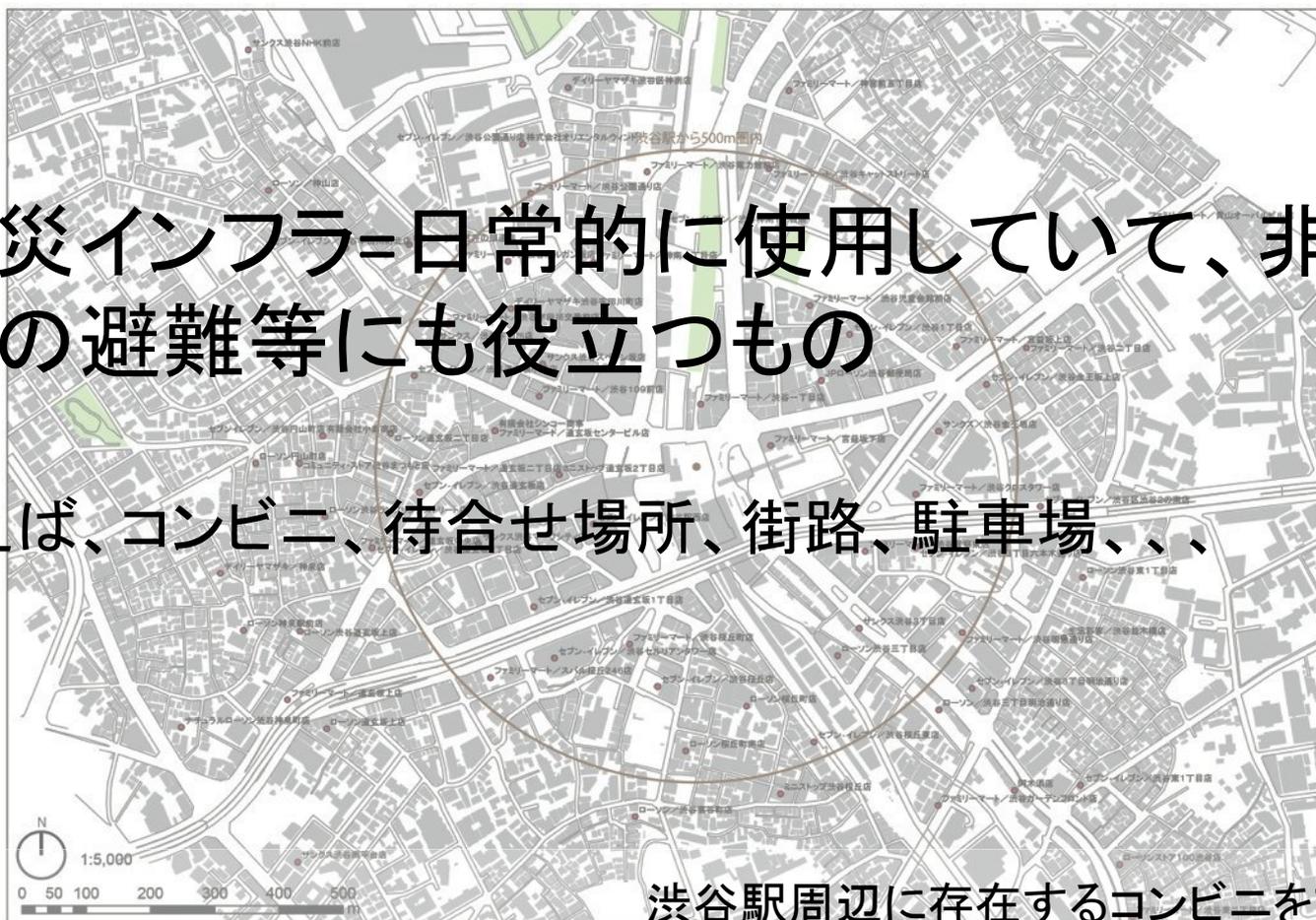


## 活動2: 超絶繁華街の空間調査を実施する。

- ・日常と非日常を繋ぐことが防災の論点の一つであり、その視点から渋谷の超絶繁華街の空間資源を洗い出す。「防災インフラ」の概念の構築を目指す。

防災インフラ=日常的に使用していて、非常時の避難等にも役立つもの

例えば、コンビニ、待合せ場所、街路、駐車場、、、



渋谷駅周辺に存在するコンビニをプロット



## 活動3: 防災対応を支えるシステムを探る。

・特に帰宅困難者対策に焦点を当て、どのような制度やマネジメントが有効であるのかを探る。

拠点駅の帰宅困難者対策協議会

	都	千代田駅	有明駅	池袋駅	品川駅	渋谷駅	上野駅	八王子駅	南口駅
H19	H19年1月防災委員会 防災対策推進協議会 H19.5.15 災害対策本部(有明) 緊急会議 H19.6.11 有明駅防災協議会(有明) 緊急会議	6/27 有明駅防災協議会 緊急会議	1/26 有明駅防災協議会 緊急会議	5/29 池袋駅 防災協議会 緊急会議		6/23 池袋駅 防災協議会 緊急会議			
H20		6/27 有明駅防災協議会 緊急会議		1/10 池袋駅 防災協議会 緊急会議 2/24 池袋駅 防災協議会 緊急会議		4/26 池袋駅 防災協議会 緊急会議 5/20 池袋駅 防災協議会 緊急会議			
H21			4/15 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/24 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/29 池袋駅 防災協議会 緊急会議	2/6 池袋駅 防災協議会 緊急会議		4/16 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/23 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/29 池袋駅 防災協議会 緊急会議	4/21 池袋駅 防災協議会 緊急会議		
H23	11/19 池袋駅 防災協議会 緊急会議		6/23 池袋駅 防災協議会 緊急会議 6/24 池袋駅 防災協議会 緊急会議 6/25 池袋駅 防災協議会 緊急会議 6/26 池袋駅 防災協議会 緊急会議 6/27 池袋駅 防災協議会 緊急会議 6/28 池袋駅 防災協議会 緊急会議 6/29 池袋駅 防災協議会 緊急会議 6/30 池袋駅 防災協議会 緊急会議	4/21 池袋駅 防災協議会 緊急会議				4/21 池袋駅 防災協議会 緊急会議	4/21 池袋駅 防災協議会 緊急会議
H23	H23年1月 防災協議会								
H24	H24.1.15 池袋駅 防災協議会 緊急会議 H24.1.22 池袋駅 防災協議会 緊急会議 H24.1.29 池袋駅 防災協議会 緊急会議 H24.2.5 池袋駅 防災協議会 緊急会議 H24.2.12 池袋駅 防災協議会 緊急会議 H24.2.19 池袋駅 防災協議会 緊急会議 H24.2.26 池袋駅 防災協議会 緊急会議	4/27 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/28 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/29 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/30 池袋駅 防災協議会 緊急会議	4/27 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/28 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/29 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/30 池袋駅 防災協議会 緊急会議		4/27 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/28 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/29 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/30 池袋駅 防災協議会 緊急会議	4/27 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/28 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/29 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/30 池袋駅 防災協議会 緊急会議			
H25	H25.1.15 池袋駅 防災協議会 緊急会議 H25.1.22 池袋駅 防災協議会 緊急会議 H25.1.29 池袋駅 防災協議会 緊急会議 H25.2.5 池袋駅 防災協議会 緊急会議 H25.2.12 池袋駅 防災協議会 緊急会議 H25.2.19 池袋駅 防災協議会 緊急会議 H25.2.26 池袋駅 防災協議会 緊急会議	4/27 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/28 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/29 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/30 池袋駅 防災協議会 緊急会議	4/27 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/28 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/29 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/30 池袋駅 防災協議会 緊急会議		4/27 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/28 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/29 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/30 池袋駅 防災協議会 緊急会議	4/27 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/28 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/29 池袋駅 防災協議会 緊急会議 4/30 池袋駅 防災協議会 緊急会議			
H26	4/27 池袋駅 防災協議会 緊急会議							4/27 池袋駅 防災協議会 緊急会議	





## 活動4: リスクを排除した新たな都市像の空間提案

・2015年度建築学会コンペに出場

**再び、大地と共に生きる。**

渋谷駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。既存の都市構造は、駅周辺を核として発展してきたが、現在は駅周辺の都市構造が中心となり、周辺部は徐々に衰退している。この状況を打破するため、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。

**0. 渋谷を構成するもの**

渋谷は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。

**1. 渋谷ができる過程**

渋谷の歴史を振り返り、現在の都市構造の形成過程を考察する。渋谷の歴史を振り返り、現在の都市構造の形成過程を考察する。渋谷の歴史を振り返り、現在の都市構造の形成過程を考察する。

**2. もうひとつの渋谷のつくりかた**

渋谷の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。

**3. 実現に必要となる社会基盤**

渋谷の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。

**4. 渋谷の都市構造の変化**

渋谷の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。

**0. 概要**

渋谷の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。

**0. 渋谷を構成するもの**

渋谷は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。

**1. 渋谷ができる過程**

渋谷の歴史を振り返り、現在の都市構造の形成過程を考察する。渋谷の歴史を振り返り、現在の都市構造の形成過程を考察する。渋谷の歴史を振り返り、現在の都市構造の形成過程を考察する。

**2. もうひとつの渋谷のつくりかた**

渋谷の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。

**3. 実現に必要となる社会基盤**

渋谷の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。

**4. 渋谷の都市構造の変化**

渋谷の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。

**0. 概要**

渋谷の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。この都市像は、駅周辺の都市構造を再考し、新たな都市像を提案する。



# 渋谷 プロジェクト

## Shibuya Project

### ①ターミナル駅としての発展

1885年に開業した渋谷駅は増改築を重ねながら、複数の鉄道・路面電車が乗り入れターミナル駅としての性格を強めていく。関東大震災の被害が軽微であった渋谷では、急激な復興とともに、円山町や百軒店といった個性的な境界が形成される。ターミナル駅の発展と併せて、現在の超絶繁華街の原型がつくられた時期と言える。あろう。

#### 円山町・百軒店



### ②戦後の市街地整備

第二次世界大戦で大きな被害を受けた渋谷の街は、戦災復興計画とともに再び復興への道を歩み始める。特筆すべきは、戦災復興土地区画整理事業による中心市街地整備である。渋谷の変化に富む地形を読み込んだ事業は、個性的な境界を守りつつ新たな街の顔であるセンター街を生み出した。中心市街地の基盤がつくられた時期と言えるよう。

#### 区画整理範囲



選手村の跡地が代々木公園として開園すると、公園通り沿いに PARCO を中心とした商店が並び、今日につながる渋谷のストリート文化が生まれた時期と言える。



### ③超高層時代の到来

2000年代に入ると、駅前再開発の動きが活発になる。現在5つの超高層ビルが渋谷駅に計画され事業が進行中である。5つの超高層ビルは互いにスカイウェイで結ばれ、アーバンコアによって垂直的な回遊が生み出されている。



	鉄道	都市基盤	建築	社会情勢
1900	● 渋谷駅開業			
10	● 玉川電気鉄道			
20		● 円山町の隆盛		
30	● 東京市電 ● 東横線	● 百貨店開発		● 関東大震災 →帝都復興計画
40	● 帝都電気鉄道 (現井の頭線) ● 東京高速鉄道 (現銀座線)		● 東急百貨店東横店	
50	鉄道インフラの整備 → にぎわいの基盤に			
60		● 戦災復興土地区画整理事業	区画整理と五輪を契機とした道路基盤の整備	
65		● センター街の形成 ● しぶらか完成	● 64 NHK放送センター ● 65 渋谷急電プラザ ● 67 東急百貨店本店 ● 68 西武渋谷店	● 東京五輪 ● 渋谷再開発計画
70	● 市電の廃止	● 宮下公園開園		
75		● 代々木公園開園		
80	● 東急新玉川線 ● 半蔵門線		● 73 渋谷 PARCO ● 75 PARCO Part2 ● 78 東急ハンズ渋谷店 ● 79 渋谷 109 ● 81 PARCO Part3	
85			● 85 丸井ヤング館 ● 87 西武ロフト	
90			● 89 Burakamura	ストリートを介した渋谷の面的広がり
95	渋谷駅周辺地区の大改造の時代			
2000	● 埼京線ホーム新設 ● 井の頭線駅移転		● 98 渋谷インフォスタワー ● 99 Q-FRONT ● 00 渋谷マークシティ ● 01 セルリアナタワー	
05				
10	● 副都心線	● 大橋 JCT 供用開始	● 10 渋谷区文化総合センター大和田	● 東日本大震災
15	● 東横線駅地下化	● 地下貯留槽の整備	● 12 渋谷Hikarie ● 12-27 駅前大改造	● 渋谷駅前大改造



問題1:

再開発により駅への回帰が行われ、駅周辺への人の集中が発生

問題2:

ヒカリエ・マークシティが地形をわかりにくくしている

問題3:

人数に対する歩行者空間の少なさ

問題4:

代々木公園等の大規模オープンスペースへのアクセスの悪さ

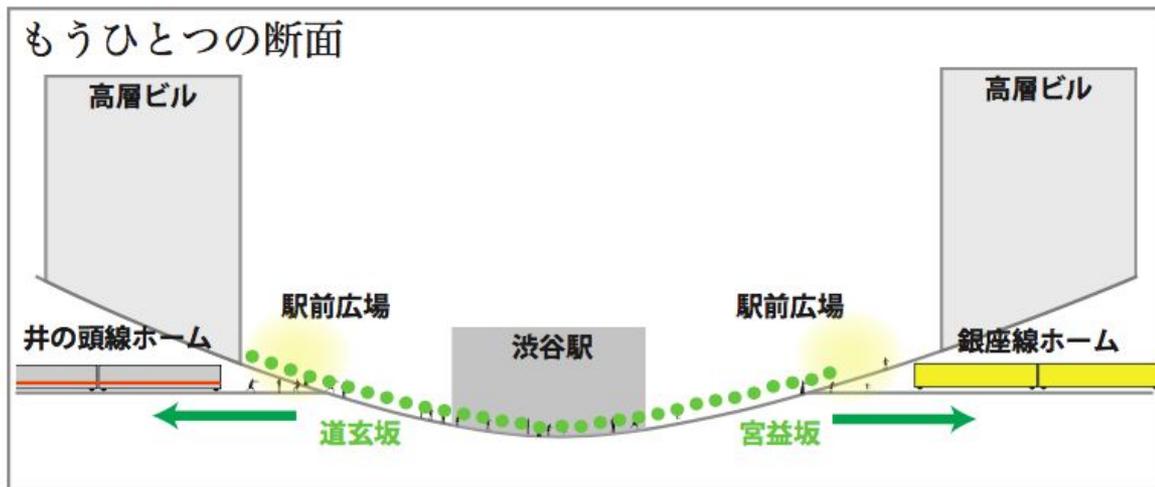
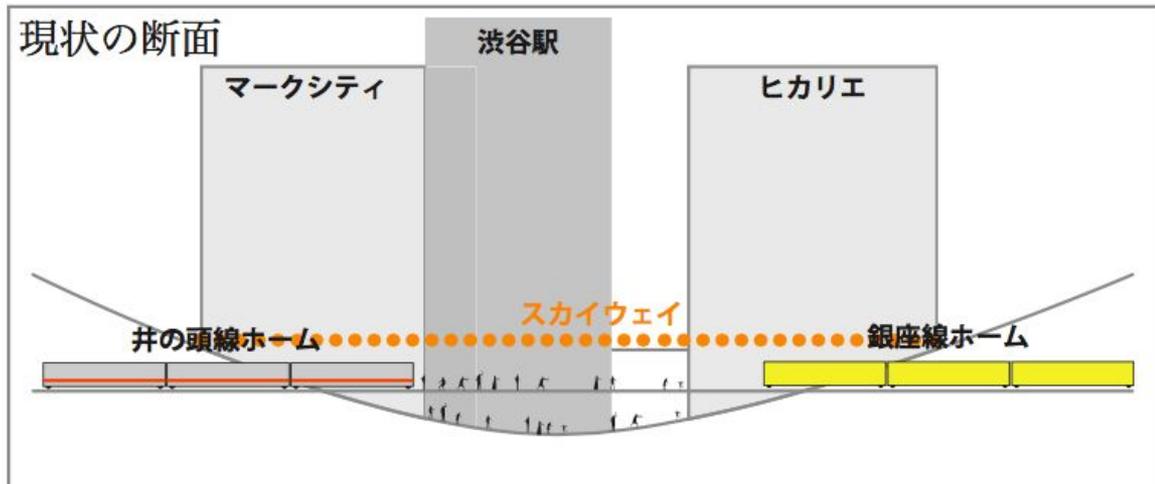
渋谷らしさを失わずに安全性を担保する



# 渋谷 プロジェクト Shibuya Project

## ■ 鉄道駅をずらし駅前広場を創出する。

渋谷に固有な谷地形のため、現状の井の頭線・銀座線は渋谷駅の直前まで地中を走り、そこから超高層ビルの中に入っていく。これは、渋谷の地形を活かした作り方とは言えず、渋谷中心部への人の集中を強めてしまっている。そこでホームの位置をそれぞれ手前にずらし、駅前広場を創出するとともに、道玄坂・宮益坂と接続することで、ストリートや界限とも連動していく。



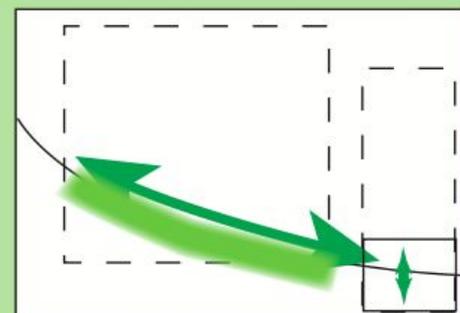
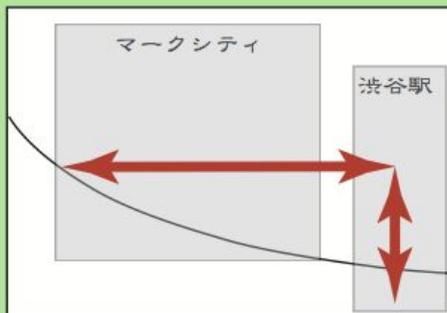


# 渋谷 プロジェクト Shibuya Project

## ○概要

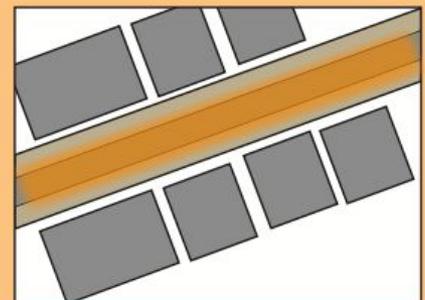
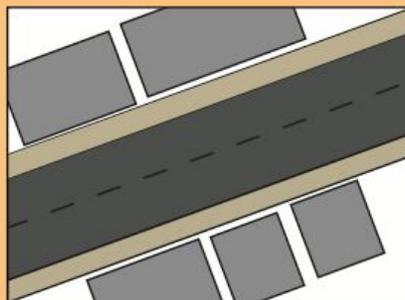
### ■ 渋谷の特徴①: 地形

台地に挟まれた谷地に発展した稀有な都市渋谷。  
その固有性が最近の高層化する開発によって忘れ去られている。  
地形を無視し、谷底である渋谷駅への集合を加速させる高層建物を地形を生かした、広場とする。



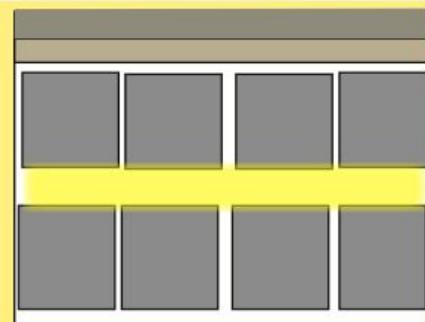
### ■ 渋谷の特徴②: ストリート・両側町性

道路は本来、歩行者のものであり、渋谷の楽しさは街歩きである。それは、両側に店があり、そこに歩行者が簡単にアプローチ出来るという、道の作り、ストリート性にある。過去の道路拡幅は、そのストリート性を失うものであり、より渋谷の楽しさを感じられるように、道路を「縮」幅し、道路を自動車から取り戻す。



### ■ 渋谷の特徴③: 裏側性

渋谷は、一本裏に入った道こそが面白い。  
近年の開発は、道を広げ、表の空間をより増やそうというものである。道路縮幅により出来る残余空間を敢えてそのまま残して、裏側性を持った空間を増やす。

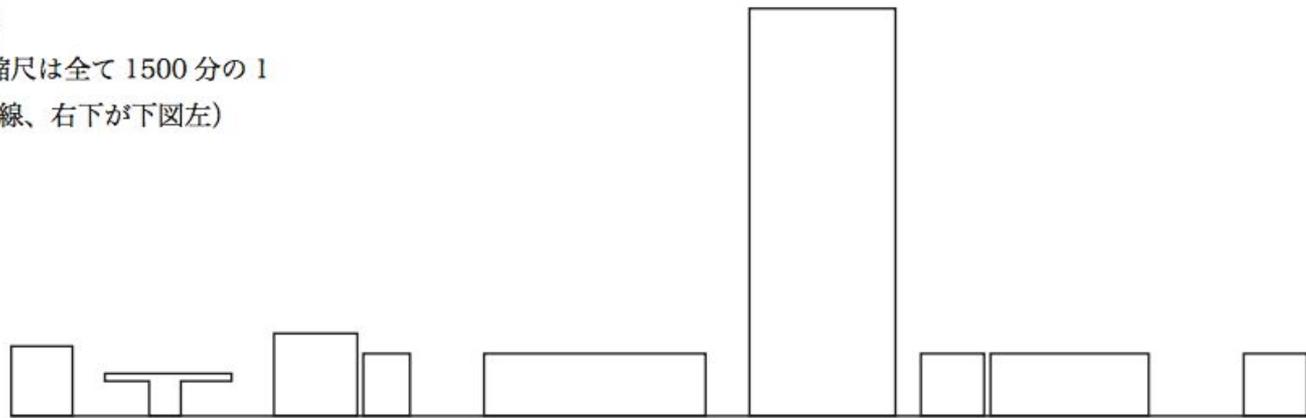




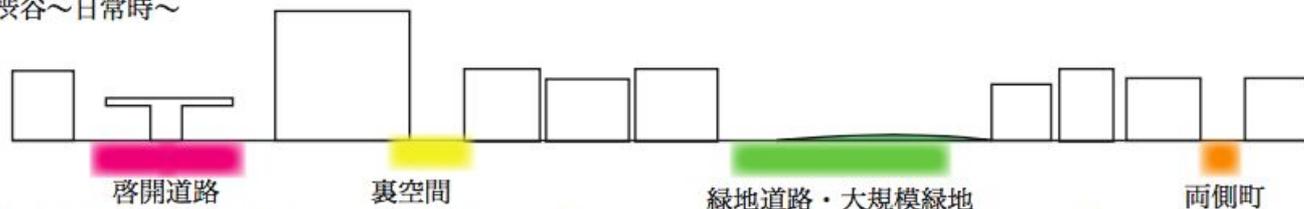
# 渋谷 プロジェクト Shibuya Project

現状の渋谷

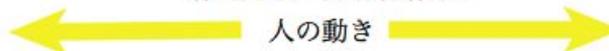
(立面図の縮尺は全て 1500 分の 1  
上図、水色線、右下が下図左)



もう一つの渋谷～日常時～



平常時、大規模緑地は、駅から出てきた人が目的地へ行く際の主要な通路となる。  
駅→大規模緑地→目的地という流れで人は動く。

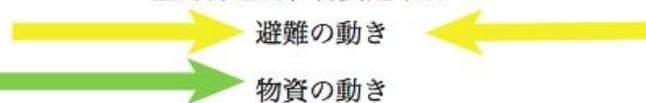


もう一つの渋谷～非常時～



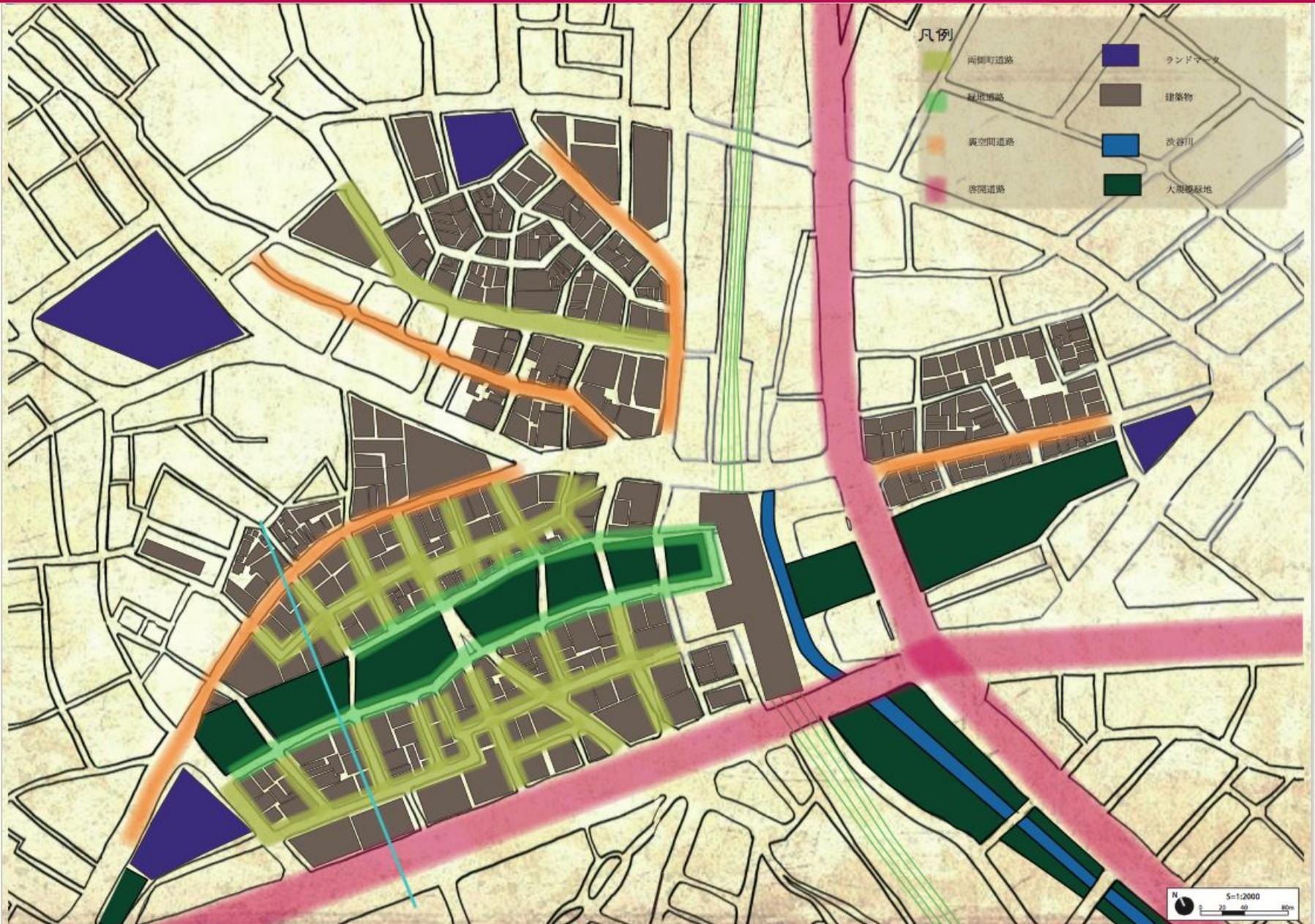
非常時、大規模緑地は、代々木公園などの広域避難所に行くための通路となる。  
帰宅困難者向けには、物資を啓開道路から持ってきて、大規模緑地で配布するということも想定している。

屋外待避所、物資配布所





# 渋谷 プロジェクト Shibuya Project





## 2016年度の予定

---

復興デザイン・スタジオへの展開



現時点ではプロジェクトの活動は予定しておりません。

同等の内容を大学院生向け授業  
「復興デザイン・スタジオ

首都直下の復興デザイン」

という

夏学期月曜3-5限の演習授業で扱います

興味がある方は受講してください

初回授業は4月18日です

専攻横断型教育プログラム  
減災・復興実践学  
2016年度オープニングガイダンス

2016年4月11日(月) 14:55-17:10  
工学部1号館15号教室

プログラム  
0. はじめに 14:55-

1. レクチャー 15:00-  
「首都直下型地震と復興デザイン」  
竹之内 優 (国土交通省) × 廣井 悠 (東京大学都市工学専攻)

2. 2015年度の減災・復興実践学の成果 16:30-17:10  
A. 巨大水災害コース  
巨大水災害軽減学演習「名古屋市津波防災」  
B. 復興デザインコース  
復興デザインスタジオ「広島土砂災害」

東京大学 復興デザイン研究体  
Urban Redesign Studies Unit, the University of Tokyo  
問い合わせ: imoto@arch.t.u-tokyo.ac.jp (井本) URL: http://bln.t.u-yokuo.ac/c/ds/index.html



## 復興デザイン・スタジオとは

- ・都市工・建築・社基の3専攻の学生を対象にしたもの
- ・昨年度、都市工ではデザイン3研究室以外の学生も受講
- ・似ているようで違う分野の学生と議論し構築する

## 今年度成果物イメージ(※参加する学生に興味関心により変わります)

- 1) 広域主体(国、東京都)の対応
- 2) 自治体の対応と大学等外部プラットフォームとの連携
- 3) 地域に根付いた共同体の対応と空間計画



大都市の防災、そして事前復興は、非常に厳しい状況で、  
ねばり強く考え続けることが求められます。

＜今年度の活動について:再掲＞

渋谷プロジェクトと同等の内容を

大学院授業 月曜3-5限 13:00-18:00「復興デザイン・スタジオ 首都直  
下の復興デザイン」で行いますので、興味のある方は受講してください。

プロジェクト・授業なんでも構いませんので、何かありましたら、

教授 窪田：[ak@td.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:ak@td.t.u-tokyo.ac.jp)

M2 渋谷：[t.shibuya@td.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:t.shibuya@td.t.u-tokyo.ac.jp)

までご連絡ください！